

大海小CNだより⑥

ありがとう・・・大海っ子を見守る たくさんの地域の先生

3月15日に6年生が卒業を迎えます。振り返れば、地域のみなさんからたくさんのことを教わった6年間でした。1年生の頃は校内の探検から始まり、お隣の保育園（現こども園）の子たちとの交流、2年生校区探検、3年生大海味噌・紋平柿、4年生大海川、5年生米づくりに学校林、そして6年生、今度は地域を核として伝統について考え、認知症理解、国際理解…。こうして振り返ると6年間でどんどん自分の身の回りから地域、そして外に向かってどんどん幅が広がっていくことが分かります。

その年でやれることは変わりますが、この大海には学ぶべきたくさんの自然と地域素材が豊富にあります。そして、たくさんの地域の先生がいらっしやいます。大海で育ったことに誇りをもって羽ばたいてほしいと思います。

さて、3学期も多くのゲストティチャーに学びました。寒い中、足を運んでくださったみなさんに感謝です。



伝統の大海味噌!!

★1/25（金）【味噌づくり】3年生

伝統の味噌づくり最終章。3年生が味噌の仕込みを行いました。春の大豆の種まきから始まり、土寄せ、大豆の収穫、豆の選別と長い時間をかけ、この日を迎えました。9月には、緑の枝豆を収穫し、味わいました。枝豆と煮豆の大豆が、同じ豆とは知らなかったという子も多くいました。そして、その大豆がいよいよ味噌に変わります。当日は、瀬戸町の高崎武義さん・高崎政勝さんに早朝よりお越しいただき、大きな蒸し器で大豆を蒸していただきました。朝から大豆の香ばしい香りが学校中に漂っていました。

大豆を広げたとき立ち込める湯気のおい、大豆と麴を混ぜるときの手触り、味見したふかしたての大豆・・・きっと子ども達は五感を使った忘れられない体験になったと思います。今では味噌を手作りする家庭は数少なくなりましたが、昔は大海味噌とって多くの家庭で作られていたそうです。子どもたちの様子も交えた大海小での手順は左図のとおり。

作ってみたいくなりませんか？種まきから完成まで2年近くかかります。子ども達の成長とともにおいしい味噌ができあがる…この待つ時間も良い経験ですね。

楽しみなサクラマスの成長



大海川の学習でお世話になっている漁協組合長の竹多さんから5年生が（イクラっぽい）サクラマスの卵をいただいたのが12月の中頃のことでした。孵化して小さなペットボトルで育てた1月。今では大きな水槽をスイスイ泳いで元気に餌を食べています。春になったら大海川で放流する予定です。その頃5年生は立派な最上級生です。



しましま模様がくっきりと出てきました



身を乗り出して話を聞いていた6年生



将来はグローバルな人材!?



★2/8（金）【国際理解】6年生

6年生の道徳、キャリア教育として、日本を離れ中国の大学で日本語講師をなさっている橋川ゆかりさんにゲストティーチャーとしてお越しいただきました。いろいろな国を旅して見聞を広めた話、ボランティアで帰国子女に日本語を教えたことがきっかけで今の仕事に就いていること…子ども達は、夢中で橋川さんの話を聞きました。（中国の大学ではお昼寝タイムがあるんですって!）ますます世界に興味をわいた6年生でした。

地域で子ども達を育てて頂いています

★3/11（月）教育後援会児童表彰

大海小学校には、「大海小学校教育後援会」という歴史のある組織があります。校区の区

長さんを中心に各種団体の方が理事を務められ、大海に住む方みんなで学校を応援して下さいます。

この日はその中でもメインの活動である児童表彰がありました。こういった組織は年々減りつつあり、どこの学校にでもあるものではなく、大変ありがたいことで、例年子どもたちの励みになっています。今年度、善行、継続、スポーツ、読書、学芸と5つの分野で良い成績を収めた児童が表彰されました。お忙しいなか、西田会長、林PTA会長が来校し表彰して下さいました。受賞されたみなさん、おめでとうございます。



各賞を代表して6年生が賞状を受け取りました

CNのつばやき

3月3日（日）にPTA奉仕作業がありました。たくさんの方が参加され、校舎がピカピカになりました。参加率の良さも大海の自慢です。環境生活部のお父さんもみんなをバリバリまとめて下さいました。皆さんありがとうございました。

